

講座内容

希望される講座を選んで、ご参加いただくことも可能です。

【小学校 実践発表】「伝え合いたい」から始まる外国語授業づくりを考える（濱雪乃先生）

「主体的な外国語の学び手」とは、どのような子どもの姿でしょうか。そして、そのような学び手は、どのような経験を通して育っていくのでしょうか。ここでは、小学校外国語教育を、これからの時代を生きる子どもたちのエージェンシーの視点から捉え直します。学習指導要領では、「主体的に学習に取り組む態度」の育成が目指されていますが、それを支えるコミュニケーション活動とはどのようなものでしょうか。子どもが他者や世界との出会いを通して「関わりたい」「知りたい」「伝え合いたい」と感じ、その思いが新たな学びへとつながる過程こそが、コミュニケーション活動の本質ではないかと考えます。ここでは、こうした視点から授業デザインや言語活動、指導と一体化した学習評価の実践を紹介し、小学校から中学校・高等学校へと続く外国語学習を見据えながら、主体的な外国語の学び手を支える授業づくりについて参加者の皆さんとともに考えます。

【基調講演】育成すべき資質・能力に応じたコミュニケーション活動（向後秀明先生）

教員になって年月を重ねるにつれ、誰も自分の“授業パターン”を持つようになります。そのこと自体が悪いわけではありませんが、ルーティン化した授業構成やコミュニケーション活動が適切かどうかを常に見直すことが大切です。見直しをする視点となる①単元・授業レベルで児童・生徒が身に付けるべき資質・能力が具体的に設定されているか、②その資質・能力を育成するための効果的なコミュニケーション活動が展開されているか、③目標が達成されたかどうかを判断する評価を行っているか、の3点を実際にどのようににつなげていくかについて皆さんと考えていきます。

併せて、上記②に関連して、特に英語に苦手意識を持つ児童・生徒の意欲を高め、モチベーションを維持しながら主体的に学習を続けるために取るべきアプローチの参考として、大学での実践を紹介したいと思います。

【中学校 実践発表】思考ツールと単元構想の工夫による即興的なやり取りの指導の実践（羽富圭吾先生）

教員としての実践を重ねる中で、英語科の授業においても「話すこと（やり取り）」の力をいかに育成するかを常に見直す必要があると感じております。本実践では、その育成すべき資質・能力として「即興的に情報を取捨選択し、相手に分かりやすく伝える力」に焦点を当てました。この力を育成するための手立てとして、①思考ツールの活用、②コミュニケーションを行う目的や場面の設定を明確にした単元構想の2点に力を入れました。まず1点目として、マングラシートやインタビューマッピングといった思考ツールを用いたスピーキング活動を設定しました。英文を原稿として書いて読むのではなく、キーワード中心の簡単なメモを手がかりに、その場で内容を再構成しながらやり取りを行うことを重視いたしました。2点目として、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を明確に設定し、単発の活動ではなく複数単元を関連付けることで、それらを一貫させた系統的な授業構成を意識しました。この2点に焦点を当てた授業実践と評価等を紹介したいと思います。

【高等学校 実践発表】生成AIとオンライン英会話を統合したハイブリッド型単元構想の試み（石川真由美先生）

GIGAスクール構想による1人1台端末の普及は、公立高校における言語活動の可能性を広げました。しかし、多くの授業では学習指導要領が求める「即興的なやり取り」を継続して取り入れること自体が難しく、単なる日常会話の表層的な繰り返して終わってしまうといった課題や、指導・評価にかかる教員の負担は尽きません。

本発表では、限られた回数のオンライン英語学習を年間シラバスに効果的に組み込み、「生成AIによる言語面の即時サポート（正確性）」と「生身の対話（流暢性）」を融合させた具体的な授業実践を紹介します。対話的で探究的な問いの中にICTを交えた個別の学びを組み込み、社会的論題に対する生徒の思考の深化や、向き合う姿勢を引き出すアプローチを提案します。予算等の制約をアイデアで乗り越え、生徒の「主体的に学習に取り組む態度」を育む、デジタルと対話をかけ合わせた授業づくりのヒントをお届けします。

第9回 英語教師授業力 ブラッシュアップセミナー

【テーマ】

育成すべき資質・能力に応じたコミュニケーション活動

～その活動、何のために行っているか説明できますか～

受講者募集要項

【開催日】

2026年10月10日(土)



第9回 英語教師授業力 ブラッシュアップセミナー

【テーマ】育成すべき資質・能力に応じたコミュニケーション活動

～その活動、何のためにやっているか説明できますか～

本セミナーは、現行学習指導要領の着実な推進に向け、各校種においてどのように授業をデザインし、目標に沿って具体的にどのような言語活動を展開していく必要があるのか、さらに指導と一体化した学習評価はどうあるべきかなどを中心として、指導・評価の両面における実践的な情報を提供させていただくことを目的としています。

9回目となる今回のセミナーでも、基調講演のほか、優れた英語教育を実践されている先生方をお招きし、小・中・高等学校各校種で求められる授業指導や学習評価の具体的なアイデアやヒントを提供いたします。ご多用中とは存じますが、今後の更なる英語教育改善のために、皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆主催 敬愛大学
- ◆後援 千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、千葉県私立中学高等学校協会
- ◆対象 国公立小学校教員、中・高等学校英語担当教員、教育委員会英語担当指導主事 等
- ◆日時・日程 2026年10月10日(土) 10:00～16:20

10:00 ～10:10	開会行事	主催者挨拶
10:10 ～11:30 (80分)	小学校 実践発表	「伝え合いたい」から始まる外国語授業づくりを考える ～主体的な外国語の学び手を支えるコミュニケーション活動とは 濱 雪乃 (お茶の水女子大学附属小学校教諭)
11:40 ～12:30 (50分)	基調講演	育成すべき資質・能力に応じたコミュニケーション活動 ～その活動、何のために、何を期待して行っている？ 向後 秀明 (敬愛大学英語教育開発センター長、国際学部教授)
昼食・休憩 ※学食は営業しませんので、各自ご持参ください。		
13:20 ～14:40 (80分)	中学校 実践発表	思考ツールと単元構想の工夫による即興的なやり取りの指導の実践 羽富 圭吾 (茨城県守谷市立守谷中学校 教諭)
14:55 ～16:15 (80分)	高等学校 実践発表	生成AIとオンライン英会話を統合したハイブリッド型単元構想の試み ～生徒と教師の主体性(エージェンシー)を育む授業デザイン 石川 真由美 (静岡県立静岡城北高等学校 教諭)

(敬称略)

※希望される講座を選んで、ご参加いただくことも可能です。

- ◆会場 敬愛大学・敬愛短期大学 稲毛キャンパス 1号館 (千葉市稲毛区穴川1-5-21)
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

◆受講料 1,000円（消費税込み）

※申し込み後、9月14日（月）以降に受講案内と一緒に納付書を郵送いたします。10月5日（月）までに、コンビニエンスストアまたはスマートフォンのバーコード決済（PayPay、au Pay、d払い）でお支払いください。

◆定員 各講座とも 50名

◆申込み 9月12日（土）までに、webフォーム（携帯端末の方は右のQRコード）からお申し込みください。

webフォーム <https://forms.gle/qvHFxoXhRpcArrCN8>



◆問合せ 敬愛大学地域連携センター

電話 043-251-6364 メール crc@u-keiai.ac.jp

（問い合わせ時間 平日 9:00～17:00 土・日・祝日閉室）

※昨年度のセミナーの報告を、本学ホームページに掲載しております。

<https://www.u-keiai.ac.jp/keiai-topics/brushup2025/>



※今年度の当セミナーは、本学主催「[教職スキルアップセミナー](#)」（「[千葉県教育委員会と敬愛大学との私大協働に関する協定](#)」に基づく、現職教員のスキルアップをめざす講座）の一環として開講されます。

【主任講師】 向後秀明 敬愛大学英語教育開発センター長、国際学部教授

（英語教育、英語科指導法、英語教育施策）



元文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課外国語教育推進室教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官。千葉県公立高等学校3校での教諭を経て、2008～2009年度、千葉県教育庁教育振興部指導課指導主事。2010～2016年度、文部科学省を経て、2017年4月に本学教授に就任。2018年4月から、英語教育開発センター長を兼務。

2005～2007年度、スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール（SELHi）研究主任。2007年、パーマー賞（一般財団法人語学教育研究所）、2008年、千葉県教育奨励賞顕彰（千葉県教育委員会）受賞。

著書等に、『中学総合的研究 英語 新装四訂版』（共著、2025年、旺文社）、文部科学省検定済教科書『Here We Go! ENGLISH COURSE 1・2・3』（共著、2024年、光村図書）、『7日間完成英検3級予想問題ドリル[改訂版]』（旺文社編、2024年）、文部科学省検定済教科書『Here We Go! 5・6』（共著、2023年、光村図書）、Nintendo Switchゲームソフト『ベティアペラペラ英語アドベンチャー』（監修、2022年、でらゲー）、『高等学校学習指導要領（平成30年告示）「外国語」対応 観点別学習状況の評価による英語スピーキングテスト事例集』（2022年、リンク・インタラク）、『英検分野別ターゲット英検2級単語・熟語問題[改訂版]』（旺文社編、2022年）、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校外国語』（共著、2021年、国立教育政策研究所）、『新学習指導要領が実践できる！中学校英語授業パーフェクトガイド』（2019年、学陽書房）、『平成30年版学習指導要領改訂のポイント 高等学校外国語（英語）』（編著、2019年、明治図書）、『小学校教室英語ハンドブック』（共著、2019年、光村図書）など多数。